

教育委員会 小学校・中学校

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 定期監査（財務監査・行政監査）
- 2 監査の対象
対象部局 教育委員会 小学校・中学校
対象年度 令和2年度
対象事項 財務事務等
- 3 監査の実施場所及び監査期間
実施場所 各小中学校
監査期間 令和3年11月10日、令和3年11月12日
- 4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

第2 監査対象の概要

- ・市立小学校は37校のうち次の10校について監査を行った。
富田小学校、保々小学校、三重小学校、桜台小学校、河原田小学校、
桜小学校、三重西小学校、三重北小学校、大谷台小学校、富洲原小学校
(河原田小学校、桜小学校、三重西小学校、三重北小学校、大谷台小学校、
富洲原小学校は書面監査)
- ・市立中学校は22校のうち次の5校について監査を行った。
富田中学校、保々中学校、三重平中学校、桜中学校、富洲原中学校
(富洲原中学校は書面監査)

第3 監査の着眼点

- 1 想定されるリスクからの着眼点
事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。

【小・中学校共通事項】

- (1) リスク評価チェックリストの検証
- (2) 教職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- (3) 教員が児童生徒と向き合う時間を十分に確保できないリスク
- (4) 理科薬品の適正な管理におけるリスク
- (5) 学校内におけるいじめ、不登校等への対応におけるリスク

【中学校共通事項】

(6) 教員の部活動における業務負担に関するリスク

2 3 E (経済性、効率性、有効性)・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、有効性、効率性の視点等から設定した。

第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行に当たっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査の結果

【小・中学校共通事項】

(1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査においては、全体的にリスクは低い評価となった。事前調査の結果、一部事務処理誤りが見受けられた。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
所属の主要な事務事業	事業を行っているか	評価・見直しがなされず、効果のある事業が実施されないリスク	4 / 4	
現金管理	現金の取扱いがあるか	現金の紛失、数え間違い、処理遅れ、着服等のリスク	4 / 8	
支出事務	歳出予算の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支出相手方の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	2 / 12	○
財産管理	土地若しくは建物又は公の施設を所管しているか	土地、建物、施設が安全に使用できないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用（又は、市民に有効利用）されないリスク	4 / 4	
情報管理	個人情報扱っているか	個人情報の漏えいや目的外使用、データの改ざん、滅失等のリスク	4 / 4	

組織・人員	多くの時間外勤務を行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 業務量に対し職員数が不足することにより、業務が停滞するリスク	4 / 4	
その他	毒物、劇物及び薬品を保管しているか	毒物、劇物及び薬品の適切な管理がなされないリスク	6 / 6	

(評点／リスク最大時評点)

(2) 教職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ◆ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の教職員の働き方の改善がなされているか。

リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

× 学校業務アシスタントやスクールサポートスタッフの活用、定時退校日などの教職員の意識改革などにより時間外勤務は全体としてやや縮減する傾向が見られた。しかし、新型コロナウイルス感染症への対応も求められるなか、多くの教職員が年間360時間を超える時間外勤務を行っており、また、過労死の労災認定基準を超える勤務状況も多く見受けられた。教職員の健康の維持やワーク・ライフ・バランスの確保を図り、質の高い教育活動を行うため、業務の効率化や教職員の意識改革をさらに進め、時間外勤務の縮減をはじめとした働き方改革に向けて取り組みを推進する必要がある。

意見

【小・中学校共通事項】

質の高い教育活動を行うため、教職員の健康の維持やワーク・ライフ・バランスの確保を図り、業務の効率化を図るなど勤務時間管理の適正化と教職員の意識改革を推進することで時間外勤務の縮減を図り、働き方改革に向けた取り組みを引き続き推進すること。

(3) 教員が児童生徒と向き合う時間を十分に確保できないリスク

- ◆学校が抱える課題が複雑化・困難化する中、教員が児童生徒と向き合う時間が確保されているか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

△ 学校業務アシスタント、スクールサポートスタッフの配置や校務支援システムの導入により教員の業務負担が軽減されているものの、支援を要する児童への対応に加え新型コロナウイルス感染症への対策等に多くの時間を要する状況があった。教員が児童生徒と向き合う時間を十分に確保するため、業務方法の見直しを進めるとともに、教育委員会と連携し環境整備を推進する必要がある。

意見

【小・中学校共通事項】

学校業務アシスタント、スクールサポートスタッフ、部活動指導員（中学校対象）などの人材や、校務支援システムなどをしっかりと活用し、教職員の負担軽減につなげることにより、引き続き、教員が児童生徒と向き合う時間を確保できるよう努めること。

（４）理科薬品の適正な管理におけるリスク

◆理科薬品の保管・管理は適正になされているか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

× 平成２９年に教育委員会事務局から出された通知「理科薬品類の取扱いと管理について」に基づき、専用保管庫での管理、管理記録の整備、校長による点検を実施するなどして、保管・管理の徹底を図っているが、管理記録の事務処理が不適切である学校が見受けられた。

（５）学校内におけるいじめ、不登校等への対応におけるリスク

◆学校内において、いじめ、不登校等が発生した場合に適切な対応をとることができる体制となっているか。未然防止及び再発防止に向けた取り組みがなされているか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

○ 定期的なアンケートの実施や教育相談などによって未然防止を図るとともに、見守りを徹底するなど再発防止に努めている。対象事案が生じた際には、対策委員会等を開催するなど校内で情報共有を行うとともに、状況に応じて教育委員会とも連携をとり、スクール・カウンセラー等の活用を図るなど、適切な対応が取れるよう努めている。

【中学校共通事項】

(6) 教員の部活動における業務負担に関するリスク

- ◆部活動は、スポーツや文化等に親しむ観点や、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会が得られるため、生徒に対する教育的意義は高い。しかし、教員の長時間勤務の要因や指導経験のない教員にとっての大きな負担となっていないか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- △ 「部活動ガイドライン」を活用し、休養日や活動時間の定めを設けることにより部活動の充実と教員の負担軽減を図っている。未経験者の負担軽減の観点からも、複数の顧問配置をさらに進めるとともに、部活動協力員など地域人材の活用についても取り組みを進める必要がある。

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

【小・中学校共通事項】

① 事務の適正執行について【合規性の視点】

- ア 内部事務の基本的な部分で、複数の学校で事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。
- イ 学校づくりビジョン推進事業費や開かれた学校づくり推進事業費で購入している消耗品費等については、本来その事業費で購入すべきものかどうかを改めて確認したうえで支出すること。
- ウ 納品書や請求書に記載されている日付と、実際に受け取った日付にずれがある場合、受付印を押すなど支払決裁の起算点が明確になるようにすること。
- エ 修繕等にかかる費用の妥当性については、学校のみで判断することは困難かもしれないが、教育委員会とも連携を取りながら、適正な金額での執行ができるよう努めること。

② 共同学校事務室と各学校の管理職による事務処理チェック体制について【有効性の視点】

- ア 市内の小中学校を地域ごとに6ブロックに分けて、その中の1校に共同学校事務室が設置され、同事務室では財務帳票の点検業務も行われており、各学校の財務会計事務の一定の適正性が保持されている。しかし、共同学校事務室のチェック機能に依存し、管理職によるチェック機能が働いていないと思われる事例も見受けられる。共同学校事務室において財務事務に関する知識のさらなる集積を図るとともに、各学校においても事務処理に係るチェック体制の強化を図ること。

イ 各学校における発注にあたり、共同学校事務室が見積書を徴取し、その見積結果をもって、共同学校事務室管轄内の学校の発注業者、発注価格が決められている事例がある。教育委員会は、適正な事務執行が行われるよう整理を行い、早急に必要な改善を行うこと。

③ 学校内の環境整備について【住民福祉の向上の視点】

ア 学校の敷地は広く、管理が大変であることは十分理解できるが、子どもたちがけがをすることなく、よい環境で学校生活を送ることができるよう、教育委員会との情報共有を図り、校内環境の整備に努めること。

イ 校庭の切株などは、子どもたちがけがをすることへの恐れがある。また、敷地の境界付近にある樹木などについては、敷地外への枝木のはみだしや落ち葉などの問題が生じることも考えられる。こうした事態を防ぐためにも、教職員で協力するとともに、必要に応じて予算面も含めて教育委員会と調整し、適切な対応に努めること。

ウ 遊具を含めて校内で修繕が必要なものについては、安全性の面のみならず、子どもの視点に立って早急に対応を行い、子どもたちが教育を受けるうえで支障が生じている状態が継続することのないよう努めること。

エ 倉庫内の配置については、重いものを棚の上部に置くなどけがの恐れがある状態とならないよう、倉庫内のレイアウトも含め、事故を未然に防ぐことができるように工夫して整理すること。

オ 子どもたちが利用する相談室については、学校によっては入退室が人目につきやすい場所に配置されているところがある。子どもたちのプライバシーを守るという観点からも、レイアウトを工夫するなど入退室について配慮を行い、利用しやすい相談室となるよう努めること。

カ 校内の防犯カメラのモニターについては、職員室内のどこからでも見るように、複数台の設置の検討も含め、配置を工夫すること。

④ 事故の発生と再発防止について【有効性の視点】

日本スポーツ振興センター災害共済給付金の手続きを通じて、子どもたちのけが等の発生状況と原因を把握し、情報を共有するとともに、その分析を通じて再発防止に取り組むこと。特に施設面の不備が事故の原因であれば、その修繕等の対応を行うこと。また授業中等に発生した事故であれば、教員の指導状況を確認し、必要に応じて改善を促すこと。

⑤ ICT技術活用による教育効果について【経済性・効率性の視点】

ア 令和2年度中に、全小中学校において、児童生徒に1人1台のタブレットが配備され、教室ごとにモニターとの無線LAN環境も整備され、その環境で、令和3年度当初から、授業における運用が行われている。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年9月は、学校と自宅をつないだオンライン学習が本格的に実施され、この経験により、児童生徒・教員のICT活用力向上などのメリットが生じているが、デメリット（機器の接続等不調、児童生徒による一方的接続停止、体調・精神面の不良表出等）も生じている。

今回のオンライン学習の検証を十分にを行い、今後の緊急時におけるオンライン学習や通常時のICTを用いた授業に活かしていくこと。

イ コロナ禍におけるオンライン授業においては、不登校である子どもたちが参加するなどの効果もみられた。こうした点も含め、ICT技術を活用した取り組みのメリット・デメリットや今後の課題について整理し、より効果的な活用について取り組むこと。

ウ タブレットの配備などICT活用の進展に伴い、資料などのペーパーレス化に取り組むとともに、従来必要であった用紙購入などにかかる需用費の削減など、経費面での見直しにも取り組むこと。

エ 修学旅行などの説明会をオンラインで行った学校もあり、このような新たな取り組みは評価できる。今後も、オンラインにおける課題などを整理するとともに、職員会議のオンラインでの実施なども含め、より効率的な業務遂行に取り組むこと。

⑥ ホームページの活用について【有効性の視点】

ア 学校により、活用の方法・頻度が異なるが、修学旅行中に当日の写真をアップしている学校もあり、保護者にとっても日頃見られない子どもの学校生活の状況などをホームページを介して見ることができる面もあるので、今後もホームページの積極的な活用を図っていくこと。

イ また、学校活動における生徒の顔写真の掲載や、部活動での大会等における生徒の氏名掲載については、事前に本人の承諾を得てから掲載しているとのことであり、今後も、個人情報の掲載には十分留意を払うこと。

ウ ホームページの活用にあたっては、教員の負担増にならないよう留意すること。

⑦ 校務支援システムの有効活用について【有効性の視点】

校務支援システムの機能について、教員の出退勤管理、児童生徒の出席管理に加え、令和3年度からは成績管理が追加されている。追加された機能については、システムの不具合もあり、また慣れるのにも大変であったとのことであるが、システム統一により、勤務先の学校が変わっても戸惑わなくても済むというメリットがある。今後、教育委員会との調整により、システム改善を図り、教員の負担軽減につなげるとともに、三重県教育委員会独自のシステムや近隣市町のシステムとの連携も視野に入れ、更なる効率化を図ること。

⑧ コミュニティスクールの効果について【住民福祉の向上・有効性の視点】

令和3年度には、全小中学校がコミュニティスクールの指定校となった。コミュニティスクールの取り組みにより、各学校ごとに、地域住民が学習や学校の活動を支援したり、運営協議会への参画により学校と一体となって教育方針の決定等に参画したり、また、児童生徒が地域行事に参加したり、地域の人々との交流を深めたり、地域とともにある学校づくりを進めている。これらの取り組みについて、地域住民による学校運営への参画、地域と学校との交流・連携をさらに充実させ、教育的効果をさらに高めていくこと。

⑨ 市費による教員配置の効果について【有効性の視点】

ア 各学校において、県費の教員に加え、多種の市費の教員（「よっかいち任用講師」「学校教育アシスト」「特別支援教育推進」「学びの一体化」等）が、市教育委員会により全校への配置や各校の特性に応じて配置され効果を上げており、継続して各学校に応じた教育の充実を図っていくこと。

イ 学校における重要な役割を担っている介助員、支援員、医療的ケアサポーターをはじめ、正規職員以外の教職員に対して、校長や教頭をはじめとした管理職は、きめ細やかなコミュニケーションをとることを心掛け、皆が快適に業務に従事できるような環境づくりに努めること。

⑩ 特別支援を要する児童への対応について【住民福祉の向上・有効性の視点】

各学校において、特別支援を要する児童の状況に応じて、介助員や支援員が配置され、また必要な場合には他機関と連携を図っているが、継続して各学校の特性に応じて対応していくこと。

⑪ 中学校における学校図書室活用について【有効性の視点】

小学校においては、学校図書室が児童の読書等に多く利用されているが、中学校においては、授業での調べもの学習において利用されることはあるものの、学校図書室の利用が少ない状況がある。例えば地域住民の利用を図るなど、中学校の学校図書室の活用方法について検討すること。

⑫ 読書活動の充実について【有効性の視点】

朝の10分読書活動等における読書については、子どもたちの興味を把握するために読書記録をつけることも有効な手段の1つと考えられる。他自治体等における読書通帳などの取り組みも参考にし、さらなる読書活動の充実に取り組むこと。

⑬ 性的マイノリティの子どもたちへの対応について【住民福祉の向上の視点】

性的マイノリティの子どもたちに対しては、周囲の理解が重要であり、着替えにおける配慮などを含め、しっかりとフォローを行うこと。

⑭ ピロリ菌検査や子宮頸がんワクチンの接種について【住民福祉の向上の視点】

新たな取り組みであるピロリ菌検査や再勧奨が始まる子宮頸がんワクチンの接種については、保護者からの問い合わせに対応できるよう情報把握を行い、適切な情報提供に努めること。

⑮ 若手教職員の育成について【有効性の視点】

経験年数が少ない教職員が多くなっている状況に対しては、校長OBなどの経験ある職員などの活用によるフォローアップをしっかりと行い、若手教職員へのきめ細やかな指導を行うこと。

【三重小学校】

⑯ 財産管理について【法規性の視点】

隣接する民家との境界について不明確な状況がみられた。教育委員会と連携して現状に至った経緯を把握し、適切な対応を行うこと。

評 価

【桜台小学校】

地域との良好な協力関係について

校内における除草作業等において地域の協力をいただき、きれいに整備がされているなど、地域との良好な関係が築けている。引き続き子どもたちに地域との関係の重要性を理解させるなど、地域との良好な関係を保ち続けられるよう取り組んでほしい。